

- DP1. 理学療法士として必要な基礎知識を修得している
- DP2. 医学知識を修得し、論理的思考に基づいた理学療法(評価・治療)が実践できる
- DP3. 現場で適切な対人関係を築き、患者さんや利用者さんなど他者の身体に触れる専門職としての倫理観を有している
- DP4. 自己研鑽に努め、得た知識や経験を適切に共有することができる
- DP5. 臨床現場で求められる基礎的実践能力を備えている
- DP6. 自律心を有している
  1. 自己研鑽を継続できる
  2. 自主的に行動が起こせる
  3. 自信をもって業務に臨める
  4. 自己マネジメントすることで課題を明確にできる
- DP7. 忍耐力を有している
  1. 職務に責任感を持って臨むことができる
  2. 他者に寄り添って思いやりのある行動ができる
- DP8. 協調性を有している
  1. 他者と協働できる
  2. 他人を敬い、謙虚な態度で接することができる
  3. 自己解決できない時、周囲に頼ることができる

卒業試験

臨床実習セミナーⅡ

理学療法総合演習

臨床実習Ⅲ

臨床実習Ⅱ

- 脳血管障害理学療法演習
- 循環器障害理学療法学
- 老年期理学療法学
- 運動器障害理学療法演習
- 代謝障害理学療法学
- スポーツ理学療法演習
- 呼吸器障害理学療法学
- 発達支援理学療法学
- 臨床実習セミナーⅠ

- 障害スポーツ演習
- 運動学演習Ⅱ
- 病態概論
- 薬理学
- 神経内科学
- 整形外科学
- 精神医学
- 運動療法学
- 義肢装具演習
- 徒手理学療法学
- 日常生活活動学演習Ⅱ
- 理学療法評価演習Ⅱ
- 理学療法評価演習Ⅲ
- 多職種連携論
- 社会保障制度論
- 理学療法管理学
- 地域理学療法学
- 理学療法研究法

臨床実習Ⅰ

- 情報科学
- 英語
- 保健体育
- 社会学
- 解剖学Ⅰ
- 解剖学Ⅱ
- 体表解剖演習
- 生理学Ⅰ
- 生理学Ⅱ
- 運動学演習Ⅰ
- 解剖演習
- 心理学
- 人間発達学
- 公衆衛生学
- 病理学
- 内科学
- 栄養学
- レクリエーション論
- 救急救命学
- 物理療法学
- 日常生活活動学演習Ⅰ
- 生活環境学
- コミュニケーション論
- 理学療法評価学
- 理学療法評価演習Ⅰ
- リハビリテーション学
- 総合医療学
- 理学療法概論
- 統計学

**3年次**  
 これまでの学習の集大成として、高度な専門知識と実践的な臨床能力を統合し、国家試験に合格できる実力を養う。理学療法士として臨床現場で貢献できる即戦力となることを最終的な目標とする。

**2年次**  
 1年生で習得した基礎知識を基盤として、理学療法 of 専門分野における知識を深化させ、多様な疾患の特徴やそれに対する評価・治療原理、および関連する医学知識を習得する。

**1年次**  
 理学療法士として必要な基礎的な知識と多岐にわたる専門分野の導入を学ぶ。

基礎分野

専門基礎分野

専門分野